

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

六月に入り、また梅雨の季節となりました。湿度も高く、洗濯物や外出等、何かと面倒な事の増えるこの季節。

鬱陶しいこの時季を楽しく過ごすために、今回は、梅雨時につきものの「傘」についての特集をお届けします。

世界中でも有数の 傘の消費大国日本

今年も梅雨の季節となりましたが、梅雨といえばつきものな「傘」。

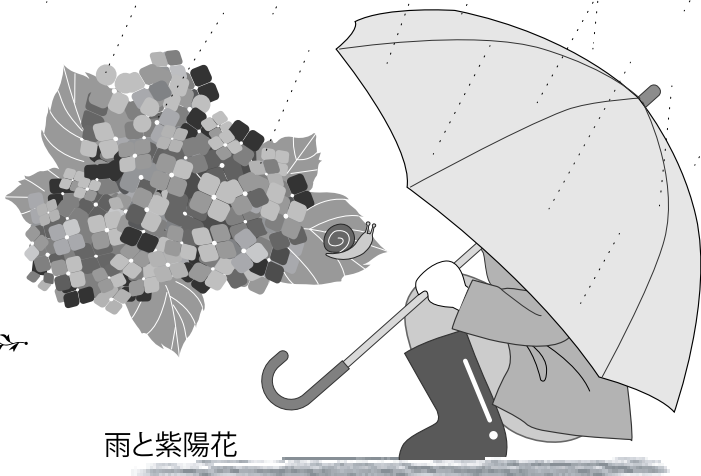
世界中でも日本は傘大国で、年間の購入数はなんと、人口とほぼ同じ一億二千万本。

この中には、急な雨に慌てて安価なビニール傘を買って使い捨て

にした、等の数も含まれているようですが、それにしても膨大な数字ですね。

さらに、日本の傘大国ぶりは雨傘だけではなく、日傘も同じ。

暑い日に、日傘を差した人が大勢歩いている光景は、日本では珍しくもない光景ですが、外国から来た方はびっくりするといえます。海外にも日傘はありますが、日



雨と紫陽花

本ほど大勢が利用してはいないようです。

雨の日のお洒落で 梅雨を楽しむ

日本の梅雨は湿気が多く、洗濯物も中々乾かない等、あまり良いイメージがありませんが、梅雨に雨が降らなければ、夏は水不足で大変な事になってしまいます。

梅雨時ならではの楽しみで、傘や長靴・レインコート等のお洒落を楽しんではいかがでしょう。

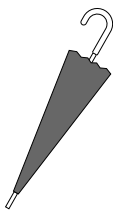
最近、色も柄も種類が豊富でお洒落な傘やレインコート、長靴が沢山ありますから、新調したお気に入りの傘で、雨の日の外出もお洒落を楽しみましょう、

梅雨時の必需品「傘」について

梅雨時は湿気が多く、なんとなく憂鬱だったり、低気圧の影響で体調も優れない方も多い様です。そんな時、新しいレインシューズや明るい色の傘を新調してみてもいかがでしょうか。

鬱陶しい雨の日も、お気に入りの傘があれば、外出が苦ではなくなります。

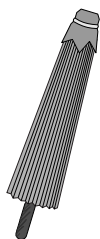
◆日本人は世界で一番の傘好き



今の季節は、天気予報を見て傘を持って出掛けたり、折り畳み傘を鞆に入れておく等、準備しておく事が多いですね。

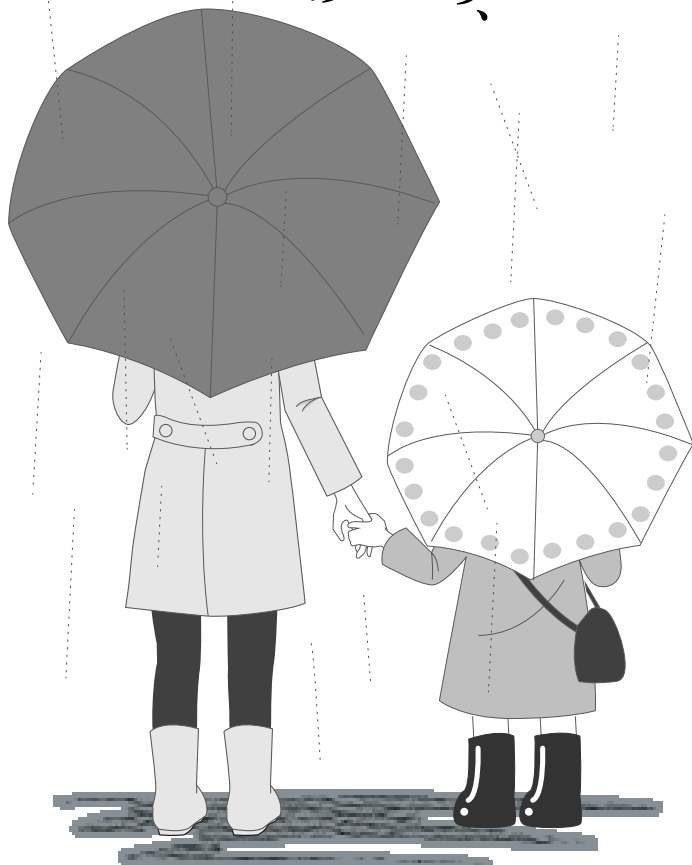
しかし、世界的にみるとこれは珍しいようで、雨が降るとサッと傘を取り出す日本人を見て、外国

◆日本の傘文化



の人はびっくりするようです。実は、日本人は傘の保有数が世界で一番で、世界平均は一人二・四本ですが、日本人は三・三本保有しているといえます。

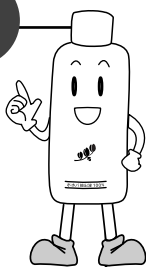
日本人と傘の歴史は、古くは奈良時代の「日本書記」に傘の前形、蓋（きぬがさ）の記述があります。



その後、平安時代後期には和傘の存在が認められます。鎌倉時代の編聖絵には、開閉できるタイプの傘が描かれ、安土桃山時代には現代の傘のようなるくろ型に。

その後、江戸時代には和傘が広まり、蛇の目傘や番傘等が普及しましたが、ペリーの来航で洋傘が高価な舶来品として人気に。

おしえてホホバ君!



傘の寿命はどれくらい?
買い替えの目安は??

強風で曲がってしまったり、骨が折れてしまったりと、傘が使えなくなる理由は色々。

傘の寿命は、生地の部分の耐用年数が約3～4年、骨組みの部分が5～6年といわれています。

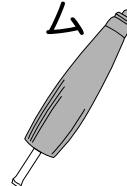
(安いものやビニール傘は骨組みの強度が弱く、もっと早くダメになってしまいます。)

日傘については、UVカット加工の耐用年数が約2～3年といわれていますが、UVカットスプレー等でお手入れすることで長く使うことも可能に。

シーズン毎に手頃な新しい傘で気分を変える、良いものを修理しながら長く愛用する、どちらの使い方でもお好みでOK!
梅雨時の主役「傘」を楽しみましょう。



◆和傘が密かなブーム



平成から令和となり、最近では和傘の魅力が再認識され、静かなブームになっているとか。
和傘と言っても、番傘・蛇の目

明治になると蝙蝠傘が広まり出し、洋傘が増えてきます。
昭和の時代、特に戦後になると、洋傘が主流となり、和傘は急速に減っていきます。

つづりがせ



や京和傘等、色々な物があります。
和服の時等は、お洒落な京和傘を合わせたりするのも素敵ですね。

◆雨の日を楽しく

「傘」と一口に言っても、デザインもお値段も実に様々です。
きれいな柄や、鮮やかな色とりどりの傘を見ていると、なかなか一つに絞るのは難しいものですが、今年のひとつ、新しい傘を新調してみたいかがでしょうか。
梅雨時には、傘に合わせたレインコートやレインシューズで雨を楽しみましょう。